

教員採用試験の受験生諸君！

1次試験お疲れさま。論文試験の復元答案提出、ありがとうございます。提出してくれた答案を見る限り、練習した成果を本番で十分に発揮できていたのではないかと思います。論文については、ほとんどの人が合格ラインに入っています。よく頑張りました。4月から1次試験(7/9)までに私が添削した練習論文は、18人で延185枚。最も多く書いた人は26枚、平均10枚でした。私が今までに指導した中で一番多かったです。君たちの意欲の高さの現れですね。

3・2・1年生・M1生諸君！

今年の教員採用試験受験者を見ていて感じたのは、「大学推薦の有利さ」です。もちろん、校内選考されるので、大学推薦に値する成績がないと難しいです。しかし、一般受験に比べると、大学推薦の場合は1次試験全部が筆記試験が免除になることが多いので、受験に向けた負担が著しく少なくて済みます。教職教養、専門教養、一般教養等が免除になるので、論文と面接に集中することができます。もし応募条件を満たしているなら、是非とも大学推薦をお勧めします。ただし、応募者に対しては書類審査と面接があります。小金井キャンパスでは、理科と数学科教員志望者が対象です。希望する自治体があるかどうか確認してください。今年は横浜市、川崎市、相模原市、埼玉県、京都府、京都市、大阪府、大阪市から推薦依頼が来しました。詳細は、小金井相談室に来てください。

**1 2次試験に向けて(面接試験直前ワンポイント講座)(教員採用試験受験生諸君へ)**

8月上旬から下旬にかけて行われる各自治体の2次試験に向けて、7月3日から1人2回以上の個人面接指導や集団討論指導を行ってきました。8月2日・3日には、仕上げの意味で模擬面接を行います。その前に次の各項目について最終確認を行ってください。

- 身だしなみは大丈夫か：当日必ず試験会場のWCで最終確認する。
- 自分のウリ(面接官に伝えたい自己PRになるエピソードや方策等)を2つ用意してあるか。
- 声の大きさ、面接室に入る際の態度、礼の仕方、座り方：極意書通りに行っているか。特に、自分の名前を言う時には最大音量で。(面接は、初めの5分間が勝負！)
- テーマごとの最初の質問に対する答えにインデックス(柱、見出し)で答えているか。
- 常に短く、簡潔に答えようとしているか。
- 必要に応じて逆質問する意識はあるか。30分間の面接なら2～3回は逆質問しよう。
- 答えに窮した時に「少々お時間をいただいてもよろしいでしょうか？」と言えるか。そう言ったとしても、待ってもらえるのはせいぜい15秒位まで。
- 回答できない質問が来たときの対応：知らなければ、いくら考えてもどうしようもないが・・・
(例)「本県の教育長の名前を知っていますか？」(答えられないマイナスを別の面で挽回する)
[回答A]「不勉強で申し訳ありません。帰宅してからすぐ調べます。」(誠意と真面目さをアピール)
[回答B] (少し考えてから)「申し訳ありません。先ほどまでは覚えていたのですが、緊張のあまり忘れてしまいました。思い出したら、後ほど答えさせていただいてもよろしいでしょうか？」(機転のよさと対応力をアピール)
- 新学習指導要領、体罰禁止、場面指導の対応は十分か。
- 面接終了後の礼や面接室を出るときの態度に油断はないか。(終わったという安心感が危ない)



★ 面接は、「悪魔のように細心に。天使のように大胆に。(黒澤明映画監督)」

2 今年の1次試験から分かったこと(3・2・1年生・M1生諸君へ)

今年の1次試験を終えて、受験生の体験談などから次のことが明らかになりました。

○ 専門教養、教職教養等、筆記試験の準備は、3年生の9月から始めたい。

4年生から準備を始めたのでは間に合わなくなります。なぜなら、4年生になると論文練習や教育実習があり、筆記試験のために十分な時間が取れなくなるからです。関東都県の1次試験は、毎年7月9日ごろ。4年生の4月から始めたのでは、わずか3か月間(そのうちの3週間は教育実習)で、筆記試験(専門教養、教職教養、一般教養)、論文などの全部を準備しなければなりません。しかも、理系学部の場合は、ゼミなど卒業に関する科目の対応もあります。筆記試験の準備開始は、3年生の9月までに、論文練習開始は3年生の10月までにしましょう!そのためには、まず小金井相談室に来てみてください。既に何回も論文の添削を受けている3年生もいます。この3年生の教員採用試験の合格率は、相当高くなっています。他の3年生も、1・2年生・M1生も早く準備を始めれば始めるほど合格率は100%に近づきますよ。



○ 教職教養・専門教養・一般教養問題対策は、志望する自治体の過去問で勉強する。

受験する自治体の過去問を中心に過去5年分を2回以上解きましょう。筆記試験の問題は、自治体によって全く傾向が違います。自分が受験する自治体を早く決めて、自治体に応じた勉強をすることが合格の秘訣です。特に教職教養は内容が豊富で、全部勉強するには時間が足りません。そこで、希望する自治体が好んで出題する分野を中心に勉強を進めてください。また、東京都は教職教養問題で、「東京教師道場」「採用前実践的指導力養成講座」「若手教員研修」「東京教師道場」「東京都教育研究員」「東京都教育開発委員」「東京都教員研究生」など、東京都独自の取組について答えさせています。これらについては現職の教員もほとんど知らないのだから、これらを知っているかどうかは教員の資質とは関係ないと私は思います。採用試験に出されている以上、準備しておかないと合格しません。東京都志望理由を「他県と比べて研修体制が充実しているから」としている人は、教職教養だけでなく、面接で上記の研修名を幾つか挙げられるようにしておいてください。詳しくは、下記の東京都教職員研修センターのWebページを見てください。



(東京都教職員研修センター) <http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/>

また、教育法規についても、全部を覚えようとせず、体罰禁止や教員研修、儀式的行事における国旗・国歌の指導義務など、内容と連動させて覚えるようにしましょう。特に、体罰では、体罰と懲戒の境界線が問われることがよくあります。文部科学省からの通知文で体罰(アウト)と懲戒(セーフ)が例示されていますから、よく読んでおいてください。その資料は相談室で配布しています。

★ 9月になったら教職教養の講習を、10月には合格論文の書き方講習を行う予定です。是非参加してください。日程は、改めてこの「こがねい」などを通してお知らせします。

○ 数学の専門教養問題対策について

私は数学が専門なので、数学の専門教養について触れておきます。数学の専門教養問題の難易度は、概ね大学入試程度です。理系大学に在籍している皆さんなら十分に対応できるはずです。ただ問題なのは、大学入試から3年も経っていき解き方を忘れていくのと、数学教師になるためにはある程度の速さで解けなければならないということです。大学受験の頃を思い出すまでには何題も過去問を解いてみる必要があります。その意味でも1日でも早くスタートしないと間に合わなくなります。ご希望なら数学の専門教養問題の指導(質問対応)もします。

3 今後の予定

- 8月 2日(水)・3日(木) 模擬面接指導(面接官は外部講師)
- 8月10日(木) 直前面接指導(西館B1F 談話室 予約不要 先着順 面接官は田神)
- 9月 小金井キャンパス教員採用試験慰労会(日程調整等は後日連絡)

4 新着図書

高等学校数学A・B・Cの教科書(数学I・II・IIIは、以前からあります)